

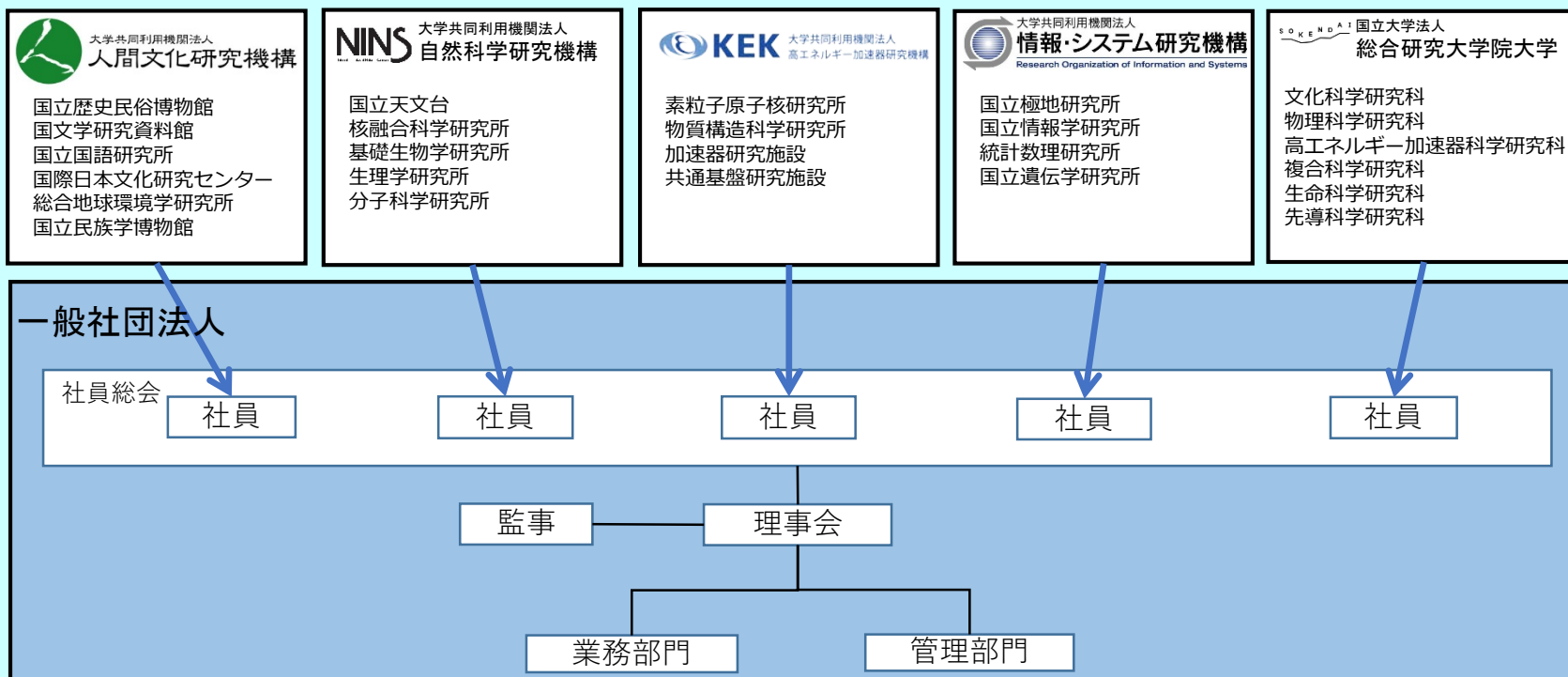
「連合体」設立に向けた検討の方向性

大学共同利用機関法人等で構成する「連合体」の設立構想

設立の趣旨

4つの大学共同利用機関法人（人間文化研究機構、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構）及び国立大学法人総合研究大学院大学で構成する「連合体」を設立し、5法人が連携を深めることにより、異分野融合の推進・新分野創成等による研究力の強化、大学院教育の充実、及び運営の効率化を図る。

組織（案）



検討すべき取組

運営の効率化に向けた取組

各大学共同利用機関法人が、これまで各々で蓄積してきた技術・経験・ノウハウを持ち寄り、共同で取り組むことで効率化が見込まれる業務（例えば、広報、IR、評価、施設・設備のマネジメント、調達・契約、法務、知的財産、男女共同参画に係る取組、研究不正への対応、情報セキュリティ、職員の研修、産業界との連携・地方貢献活動に係る窓口の設置等）について検討する。

研究力の強化に向けた取組

研究連携促進のための基本方針を策定の上、異分野融合による研究領域の拡大と新分野の創成に向けた研究プロジェクトについて検討する。

また、大学共同利用機関の国際化を促進するため、海外リエゾンオフィスや外国人研究者の相談窓口を共同して設置する等の取組について検討する。

さらに、ポストドクターのキャリアパス支援等、若手研究者の育成について検討する。

大学院教育の充実に向けた取組

総合研究大学院大学における大学院教育に関して、基盤機関である大学共同利用機関が有する海外の研究機関とのネットワークを生かして、国際共同学位プログラムを策定するとともに、留学生のリクルート等について検討する。

「連合体」設立に向けた検討体制

大学共同利用機関法人及び総合研究大学院大学による
「連合体」設立準備委員会

組織検討WG

連合体組織の名称、目的、組織体制、業務内容等

業務運営検討WG

業務の連携・効率化(総務、財務、研協、施設の部会で検討)

研究力強化検討WG

異分野融合研究や新分野創成研究等による研究力強化

大学院教育検討WG

大学院教育の改善・充実等

「連合体」設立に向けたスケジュール（案）

※検討の状況により適宜見直す。

検討体制	検討内容	2019年度												2020年度	2021年度	2022年度			
		～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
大学共同利用機関改革に関する作業部会	「連合体」の設立（総研大の機能強化を含む）		作業部会	作業部会	検討状況に応じてヒアリング														「連合体」設立
					検討状況に応じて継続的に実施。課題を検討														
「連合体」設立準備委員会／機構長ミーティング	総合企画、各WGの検討内容の調整、業務の進捗管理等		機構長ミーティング	委員会	機構長ミーティング	機構長ミーティング	委員会	機構長ミーティング	機構長ミーティング	機構長ミーティング	委員会								
組織検討WG	連合体の名称、目的、組織体制、業務内容、予算及び事務所等	一般社団法人とした場合の課題・解決策、体制検討						業務実施体制等の検討						定款・内規整備、会費・事務所等検討	法人設立手続、事務所等整備				
業務運営検討WG	業務の連携・効率化	共通化検討対象事項の整理			共通化課題整理、工程表作成			体制・規程等の検討、工程表の見直し、等						共同業務の試行	共同業務の試行拡大	共通事務センター（仮称）設置			
研究力強化検討WG	異分野融合や新分野創成研究等による研究力強化	事業の分類（連合体 or 機構/機関）			基本方針の策定、事業の体制・規模等の検討														
大学院教育検討WG	大学院教育の改善・充実等	検討の方向性、現状と課題、等			基本方針の策定、事業の体制・規模等の検討														